

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
福岡医療秘書福祉 専門学校	昭和62年12月24日	岩本 克也	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目17番11号 (電話) 092-481-3354
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法に基づき、医療事務・保育士・介護福祉士として医療及び福祉に従事しようとするものに必要な知識技能を教授し、明日の医療界及び福祉を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
医療事務科	1年	40人	40人
医療秘書科	2年	80人	160人
診療情報管理士科	3年	40人	120人
医療保育科	3年	40人	120人
介護福祉科	2年	40人	80人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
医療事務科	・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
医療秘書科	・医療従事者として、受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
介護福祉科	・生活歴や価値観が異なる相手の立場に立って共感でき、円滑なコミュニケーション力を持ち合わせた思いやりのある介護福祉士 ・‘生活’の連続性を捉え、科学的な分析を以て、尊厳のある暮らしと自立を支えることができる介護福祉士 ・多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解し、リーダーシップをとることができる介護福祉士 ・人権擁護の視点、職業倫理を身に付けた介護福祉士
診療情報管理士科	・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、情報活用に必要高度なパソコンスキルを有する。 ・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。 ・チーム医療の中心的役割、及び、病院経営に貢献できる経営に関する知識を有する。
医療保育科	・保育士・幼稚園教諭の国家資格を保持し、且つ医療の専門的な知識を有し、保育・医療の現場において即戦力となる。 ・子ども保護者、同僚などの他者や社会と良好な関係を築く力を有し、的確なコミュニケーションを図ることができる。

<取得可能な資格について>

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-med/jobdata/skill_introduction.shtml
---------	---

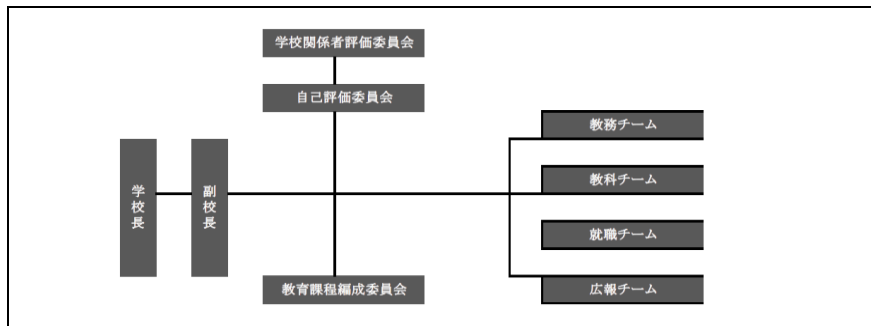
<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-med/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	23
兼任教員	29
事務職員	5

教職員の組織



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
森本 佳子	医療事務	福岡市内の病院にて医療事務員としての勤務歴有り。現在もクリニックにて勤務継続中。本校以外の専門学校においての教員歴有り。
安部 哲哉	医学知識	福岡県北九州市内の病院で医師として勤務。病院長として主に内科、産婦人科を担当している。
杉野 志帆美	接遇マナー・秘書業務	診療情報管理士を資格を取得している。国立の医療機関にてDPC業務を3年・秘書業務2年を務め、点数算定業務やデータ管理などを中心に担当していた。
江頭 里香	介護	介護福祉士として介護現場での勤務経験あり。介護福祉士資格保有。専門学校にて教員歴有り。
来島 裕太	診療情報管理	都志見病院、長門総合病院で薬剤事務・医療事務・診療情報管理業務・がん登録業務に携わった。現在は、山口県立総合医療センターにて、診療情報管理を全般的に行っている。
黒木 知恵美	保育	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-med/jobdata/support.shtml
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。学校と実習先の事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。終了後には振り返りを実施し、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。 【各学科別事項】 各学科における実習の期間と目的は以下の通りである。 <医療秘書科 医療機関実習> 期間：3週間 目的：医療事務業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得すること <介護福祉科 施設実習> 期間：59日間 目的：介護福祉士としての業務について理解を深め、基礎的な知識・技術を習得すること <診療情報管理士科 医療機関実習> 期間：3週間 目的：診療情報管理士業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得すること <医療保育科 現場実習> 期間：保育実習 20日間、教育実習 20日間、施設実習10日間 目的：保育士としての業務について理解を深め、基礎的な知識・技術を習得すること

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-med/schoolguide/year.shtml
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/fukuoka-med/guideline_2024/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-med/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---